

香川県食料自給率向上プランの概要

【策定方針】

1 策定の趣旨

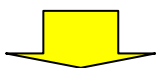
- 平成 17 年度に策定した香川県農業・農村基本計画においては、魅力ある経営と多様な担い手づくりや環境に配慮し、創意工夫を発揮した質の高い農産物づくりなど 8 つの重点推進事項を掲げているが、「食料」については特に言及していない
- 食料自給率の向上が今後の重要な課題であり、国だけでなく、各地域において、行政、農水産業者、関係団体、消費者等が、生産と消費の両面から、適切な役割分担のもと、主体的に取り組んでいくことが重要
- 県としても、市町、農水産業者、関係団体、県民の総参加のもとで、本県の食料自給率の引き上げに積極的に取り組んでいくこととし、生産振興と消費拡大を図るための各種施策を取りまとめた「香川県食料自給率向上プラン」を策定

2 性格

県における食料自給率の向上に向け、県、市町、生産者、消費者、関係団体、関係企業などが一体となり、生産面・消費面からの取り組みを総合的に進めるための指針として位置づけ

3 取組期間

平成 21 年度 ～ 22 年度



(目 標)

カロリーベース 36% → 38%
生産額ベース 95% → 100%

	基本事項	重点推進プログラム	主な取組内容
消費面の取組み	県民への食料自給率に関する広報活動	(1) 食料自給率向上 県民運動の展開	・ 広報紙等を通じた広報活動 ・ シンポジウムの開催など
	消費面からの食料自給率の向上	(2) 食育の推進	・ 米を中心とした日本型食生活の普及 ・ 学校等における食育の推進と農水産業への理解促進 ・ 食品ロスの削減に向けた啓発
		(3) 地産地消の推進	・ さぬき米愛用運動の展開 (米飯給食の充実、新米フェアの開催、米粉の利用促進等) ・ 香川の誇る食材「さぬきうまいもん 100 選」の普及 ・ 学校給食等における地場産産物の活用促進
生産面の取組み	香川型農水産業の推進による食料自給率の向上	(4) 消費者ニーズに応じた農水産物の生産拡大	・ さぬきの夢 2000、プロッコリー、讃岐夢豚、オリーブハマチ等の生産拡大 ・ さぬきの夢 2000 後継品種の選定と早期実用化 ・ 集出荷調整及びほ場作業支援体制の確立 ・ 飼料作物の生産拡大及びエコフィードの利活用の促進
		(5) 食品産業と連携した加工・業務用農水産物の生産拡大	・ 生産者・食品産業双方のマッチング活動 ・ 省力化技術等の導入と契約取引の推進
		(6) 食の安全・安心の確保	・ トレーサビリティシステムの導入支援 ・ 安全・安心に関する研修会の開催等
	担い手及び優良農地の確保による食料自給力の維持向上	(7) 担い手の確保・育成	・ 認定農業者の確保・育成、集落営農の組織化 ・ 就農相談会の開催などによる新規就農の支援 ・ 水産業への新規就業者の円滑な受け入れ
		(8) 優良農地の確保及び農業用施設の保全管理	・ 担い手への農地の面的集積 ・ 中山間地域等直接支払制度等による農地の保全管理 ・ 耕作放棄地の解消

本県食料自給率(カロリーベース)アップのイメージ

対策内容		現況 (H18 年度)	目標 (H22 年度)	向上率
消費面の取組	米の消費拡大(年間 1 家計購入量)	68kg	76kg	+0.6%
	学校給食での地場産物の活用促進 その他(食品ロスの削減、油脂の消費抑制、 県産野菜・魚等の消費拡大)	26.9%	30%	+0.1% +0.3%
生産面の強化	小麦の生産拡大	1,419ha	1,750ha	+0.4%
	野菜(アスパラガス、プロッコリー)の生産拡大	567ha	640ha	+0.1%
	飼料作物の生産拡大	1,520ha	1,620ha	+0.2%
	その他(果実、魚等の生産拡大)			+0.3%
県食料自給率(カロリーベース)		36%	38%	+2.0%